

ぽれぽれ
(Pole pole)
スワヒリ語で
「ゆっくり…」
という意味です

ぽれぽれしター ぽれぽれしター

第59号
2024.05.01

理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

- ・安心・安全な医療を提供します
- ・医療連携を進め、地域医療に貢献します
- ・豊かな人間性を持った医療人を育成します

診療案内

内科 外科 消化器内科 消化器外科
脳神経外科 整形外科 耳鼻咽喉科
泌尿器科 放射線科 婦人科
歯科口腔外科

【診療受付時間】

平日 8:30~16:00

土曜 8:30~11:30

【診療時間】

平日 9:00~16:00

土曜 9:00~12:00

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始



～関西放射線治療センターのご紹介～

2024年3月1日、当院の放射線治療センターは、今まで以上によりよい放射線治療を患者様にご提供するべく「関西放射線治療センター」と名称を変更して新たに出発することとなりました。

名称変更の経緯

放射線治療は医師のみならず、看護師、医学物理士、診療放射線技師、事務員など、多くの職種がかかわる分野ですので、多職種間の連携が大変重要です。そこで当院では、2014年に放射線治療センターを設立し、多職種間の横のつながりを密にすることで安全で質の高い放射線治療を患者様に提供することを目標に活動を始めました。

このたび、前述のモットーは維持しつつ、さらに患者様との連携も視野に入れて、より身近な放射線治療センターを目指して「関西放射線治療センター」と名称も新たに再出発することとなった次第です。「関西」の名に恥じないセンターになるよう、日々努力を重ねてまいりまいる所存ですので、これからも彩都友誼会病院 関西放射線治療センターをよろしくお願い申し上げます。

新しくなった「関西放射線治療センター」の特徴 !!

放射線治療専門医による相談外来を立ち上げ、がんと診断された方、放射線治療をするように主治医から言われた方などからの放射線治療について詳しく知りたいというご要望にお応えし、相談外来を立ち上げました。こんな疑問を持っておられる方はいらっしゃいませんか。

- ✓ 主治医から手術と言われているが、切らずに治す方法はないだろうか
- ✓ 放射線はなんとなく怖い、副作用は大丈夫か
- ✓ 一度放射線治療をしたら二回目はできないと聞いたことがあるけれど...



など、どんなことでも結構です。放射線治療についてわからないことがある、不安に思っているなら是非一度、専門医相談外来にお越しください。できるだけ気軽に相談していただくために、主治医の紹介状がなくても患者様ご自身で直接外来の予約をとることができるようにしています（他院に主治医の先生がおられる場合には、受診後、こちらから主治医の先生にご連絡をさしあげますのでご安心ください）。

🏥 専門医相談外来スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	高橋	—	—	高岡	—
午後	—	—	高岡	—	高橋

午前 9:00~12:00 (月、木)

午後 13:00~16:00 (水、金)

🏥 放射線治療相談外来にかかる費用

1回の相談時間
(60分以内) **6,600円** (税込)

※専門医相談外来は保険診療ではありません。

※相談後に彩都友誼会病院で検査や診察を受ける場合は、保険診療で受診いただけます。

条件によっては自由診療をお選びいただくことも可能です。

自由診療による放射線治療も可能に !!

「自由診療」とはなにか、ご存じでしょうか。いわゆる「保険がきかない」診療のことです。悪性腫瘍に対する放射線治療は基本的には保険がきく治療です。しかし、「高精度放射線治療」は一定の条件を満たしていないと保険適応にはなりません。高精度放射線治療は、より高い精度（正確さ）で放射線を腫瘍に集中して照射する特殊な技術で、「ピンポイント照射」と呼ばれたりもします。この技術を用いることで腫瘍近傍の正常組織への線量を減らして副作用のリスクを低減したり、腫瘍への線量を上げて効果を高めたりすることができます。



高精度放射線治療は、簡単に言うと、照射しようとしている腫瘍以外にもからだの別の部分に腫瘍がある場合には保険がききません。このような場合は高精度ではない、いわゆる普通の（標準的な）放射線治療をすることが多いのですが、関西放射線治療センターでは、それでも高精度放射線治療を行った方が医学的にみても利点が多い場合で、患者様のご理解と同意が得られ、主治医の先生にも了承していただける場合には自由診療で高精度放射線治療をする選択枝も提案させていただきます。

放射線治療に限らず、自由診療を受けていただく際には注意していただきたい点があります。自由診療で提供される医療は、安全性や有効性について十分な医学的根拠（エビデンス）がない場合があります。医療スタッフとよく相談したうえで受けるかどうか、ご判断ください。また、自由診療の医療費は全額患者様負担になります。高額になることもしばしばですので、費用がどれくらいになるのかについてもよくお調べください。同じ疾患に対して同一施設で自由診療と保険診療の両方を受けることは「混合診療」と呼ばれ、日本では禁止されています。たとえば、当院で保険診療の抗がん剤治療をしておられる方が自由診療で放射線治療を受けた場合、抗がん剤治療も自由診療として扱われ、その費用も全額患者様負担となります。

ホームページ開設!!

当院のホームページとは別に、関西放射線治療センターのホームページを作りました。

URL: <https://www.saito-yukokai-hp.jp/consultation/>

センターや放射線治療について、わかりやすく解説した動画をご覧いただけたり、メールを用いて前述の専門医相談外来が予約できたり、放射線治療にかかる費用など（保険診療、自由診療とも）についても掲載しています。また、がん治療や放射線治療についてさまざまな視点から詳しく解説する「コラム」のページを設け、随時アップデートしていく予定です。是非一度ご覧ください。

ご家族やお知り合いの方で、がんと診断されて不安に思っておられる方はいらっしゃいませんか。是非、彩都友誼会病院 関西放射線治療センター 専門医相談外来をお勧めください。（すでに当院におかかりの患者様で放射線治療についてお知りになりたい方は主治医にご相談ください）



新入職員紹介



2024年、新入職員は

医師	2名	歯科医師	1名
看護師	13名	看護補助者	2名
薬剤師	1名	診療情報管理士	1名
クラーク	1名		の21名です。



新メンバーを加えると、医師16名、歯科医師1名、看護師118名、薬剤師9名、調剤補助3名、歯科衛生士1名、診療放射線技師12名、臨床検査技師4名、理学療法士4名、言語聴覚士1名、作業療法士1名、臨床工学技士1名、公認心理士1名、管理栄養士2名、看護助手17名、クラーク9名、診療情報管理士2名、医事課10名、総務部6名、地域医療連携室4名、秘書1名、医師事務補助3名、保育士10名、総勢236名となります。

その他、外来診療については約30名の非常勤の先生方にご協力を頂いています。



編集後記：気候の変化が激しく体調を崩しやすくなっております。水分補給や睡眠をしっかり確保し、明るく元気に過ごせるよう体調管理に気をつけていきましょう。（大橋）

発行者：中村仁信（病院長）
編集長：福西康修（放射）
編集委員：村井祐子（医師）高橋美幸（看護）大橋香音（地域連携）
大塚はるか（医事課）東阪真希（放射）

〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号
Tel 072 (641) 6898 Fax 072 (641) 6097



<https://www.saito-yukokai-hp.jp/index.htm>
「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます!